取扱説明書

ご注意

① 本機は、ファイナライズされていないCD－R/RWディスクを再生することはできません。

② 本機は、「CD－DA」フォーマット及び「MP3」フォーマットの作成に対応しています。パソコン等でCDを作成された場合、それ以外のデータには対応しておりません。また、同じCDの中に「CD－DA」、「MP3」のデータが両方入っている場合、「CD－DA」のデータが優先され、「MP3」のデータは再生することができませんので、ご注意下さい。

※MP3の再生においてはサポートされない機能がありますのでご注意下さい。詳しくはP.20を御覧下さい。

③ CDの標準規格に準拠していない「コピーコントロールCD」などのディスクについては本機の動作保証を致しかねます。標準規格CDの再生時に支障がなく、上記の特殊ディスク再生時のみ支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問合せ下さい。

ベスタクス株式会社

〒154-0023
東京都世田谷区若林 1-18-6
TEL 03-3412-7011　FAX 03-3412-7013
WEB www.vestax.jp
Printed in JAPAN

ごあいさつ

この度は、Vestax CDX-05 プロフェッショナルシングルCDプレイヤーをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。本機の性能を最大限に発揮させるとともに、末永くご愛用頂くためにも、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い致します。

目次

本機の特長

- ●DJ用CDプレイヤーに求められる機能・性能に対応し、かつ、音質にこだわったDJ用シングルCDプレイヤーです。
- ●厳選された電子部品と独自の回路を通すことにより、CD特有のデジタル音をアナログ感ある音質に仕上げています。これにより、DJプレイの際のアナログとの音差を減らしMIXを行い易くしました。
- ●フランジャー、ディレイ、フィルターの3種類のエフェクトを搭載しており、自動検出もしくは手動設定したBPMに同期させることができます(同時に使用できるのは1系統までです)。
- ●通常のCDデータ以外にMP3ファイルの再生にも対応しています。CD-R/RWに記録したMP3ファイルを再生することが可能です。(但し、MP3再生はCUEポイントやループ再生などの機能に制限があります。)
- ●CD全体の時間数や曲の長さから個々の曲を判別し、最大100曲の再生時設定を本体内に記憶させるトラックメモリー機能が搭載されています。CUEポイントLOOPポイント、BPM値などをあらかじめ仕込んでおくといった作業も行えます。
- ●ジョグダイアルには、サーチ、スクラッチ操作に便利なタッチスイッチ付きジョグダイアルを採用しています。これにより、アナログターンテーブルと同様の操作が可能となります。また、TASCAMのTT-M1と接続することにより、ジョグダイアルの代わりに当社ターンテーブル等を使ってキューイング・スクラッチ等の操作することが出来ます。

安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしていますので「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。

警告 この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が障害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

電源プラグをコンセントから抜け

● 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

分　解　禁　止

⃠ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は分解禁止）が描かれています。

電源指を挟まれないよう注意抜け

△記号は注意を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な表示内容（上図の場合は指をはさまれないように注意)が描かれています。

⚠ 警告

電源プラグをコンセントから抜け

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。
● 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
● 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

水槽での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグをコンセントから抜け

● お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください。

● オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
● 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
● 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談してください。
● ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

● 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
● 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
● 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に湿度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
● 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
● 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
● 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

ご使用上のご注意

電源について

- 雑音を発生する装置(モーター、調光器など)や消費電力の大きな機器とは、異なるコンセントを使用して下さい。
- 接続する際は、誤動作、スピーカーなどの破損を防ぐため、必ず全ての機器の電源を切ってから行ってください。

設置について

- この機器の近くにパワーアンプなどの大型のトランスをもつ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、この機器との間隔や方向を変えてください。
- テレビやラジオの近くでこの機器を動作させると、テレビ画面に色むらが発生したり、ラジオから雑音が出ることがあります。この場合は、この機器を遠ざけて使用して下さい。

お手入れについて

- 通常のお手入れは、柔らかい布で乾拭きするか、堅く絞った布で汚れをふき取って下さい。汚れが激しいときは、中性洗剤を含んだ布で汚れを拭き取ってから、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 変色や変形の原因となるベンジン、シンナーおよびアルコール類は、使用しないで下さい。
- 故障の原因となりますので、市販の接点復活材・潤滑スプレーの中でも、シリコンオイル製は使用しないで下さい。

修理について

- お客様がこの機器を分解、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また修理をお断りする場合があります。
- 当社では、この製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後、6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの店または、当社商品の取り扱い店にご相談ください。

その他の注意について

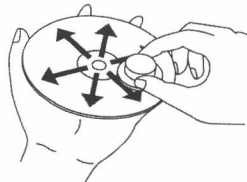
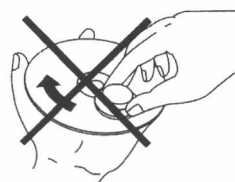
- 故障の原因となりますので、スイッチ、ツマミ、入出力端子などに過度の力を加えないで下さい。
- ケーブルの抜き差しは、ショートや断線を防ぐためにプラグを持って行って下さい。
- 音楽をお楽しみになる場合、隣近所に迷惑がかからないように、特に夜間は音量に十分注意して下さい。
- 輸送や引越しの際は、この機器が入っていたダンボール箱と緩衝材、または同等品で梱包して下さい。

コンパクトディスクについて

七色に輝く美しい面が表面で、レーベル面が裏面です。従来のレコードプレイヤーと異なり、コンパクトディスクプレイヤーはレーザー光線のスタイラスでディスクの下側からディスクに触れることなく情報を読みとります。従って、従来のレコードのように使っているうちに性能が劣化するようなことは全くありません。

■ディスクの表面にキズを付けないように大切に扱ってください。
■ディスクを大切にするため次のような場所に置くことは避けてください。

- 直射日光を受けたり、暖房器具などの発熱体に近い場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 窓ぎわで雨などがかかるおそれのある場所

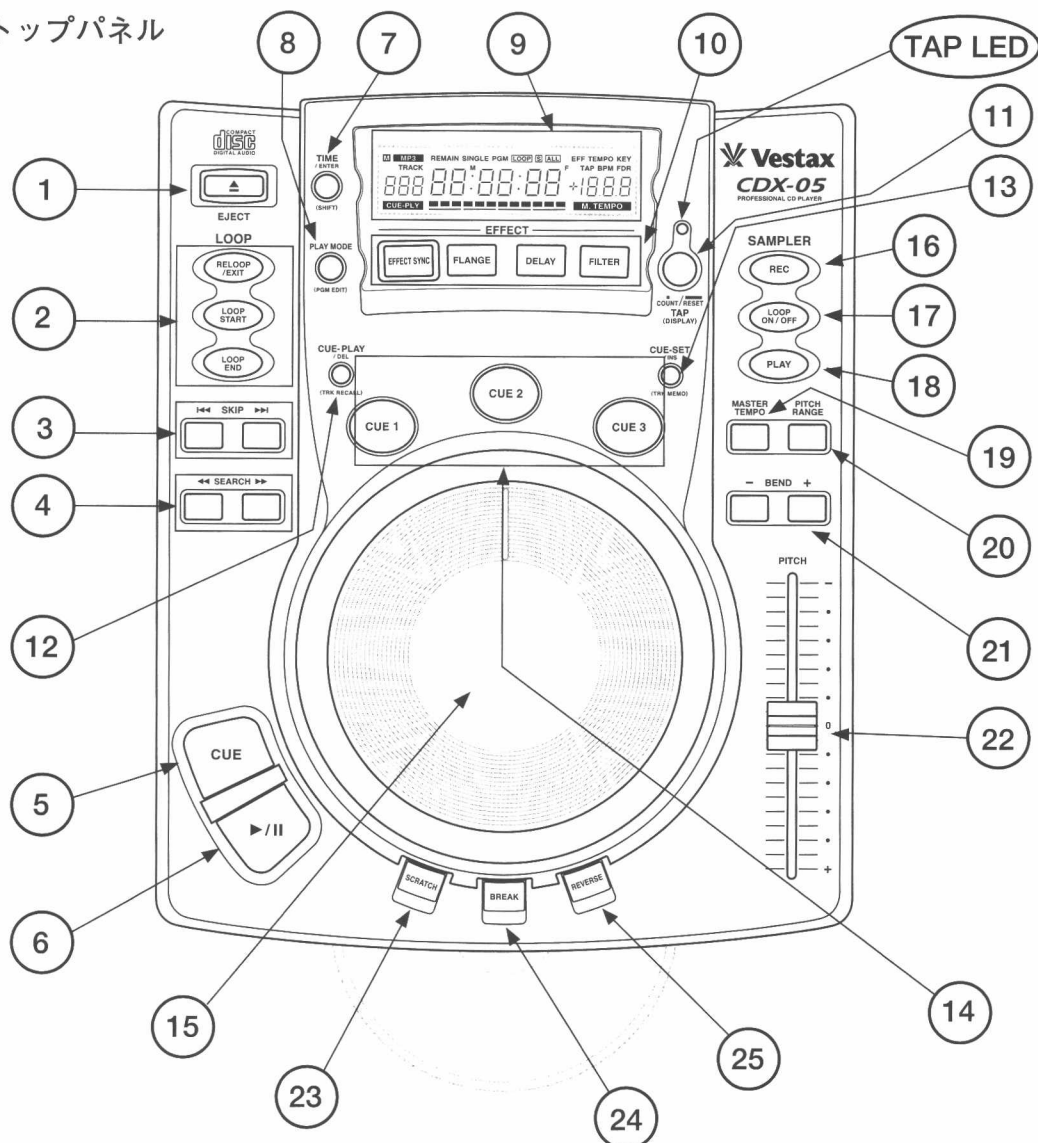
■ディスクの表面はいつもきれいに
コンパクトディスクの表面には最大約60億個の情報が入っています。ディスクの表面を拭くときは必ずコンパクトディスク専用のクリーナーを使用して図のように拭いてください。

● 放射状方向にふいてください。

● 円周方向にはふかないでください。

※従来のアナログディスク用のクリーナーを使用すると、コンパクトディスク表面に悪影響をあたえますので使用しないでください。
■ディスクはディスク用のケースに入れて正しく保管しましょう。

結露現象について

冬季など本機を戸外から暖房中の室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、動作部やレンズに露がつきます。露がついたままではレーザー光線による信号読みとりができなくなり、再生できません。結露の程度にもよりますが、1〜2時間そのまま放置し、本機を室温に保てば露が消えて再生可能になります。また、夏期にクーラーやエアコンの風が直接当たるところでも結露が生じる場合もあります。その場合は本機の設置場所を変えて下さい。

1. 各部の名称と機能

1-1. トップパネル

1. EJECT

ディスクを取り出しします。

ご注意

ダイレクトモード（プリセット、P.20）がオフのとき、ディスク再生中はこのキーを押してもディスクをイジェクトしません。

2. RELOOP/EXIT, LOOP START, LOOP END

ループポイントの設定、消去、ループ再生のオン/オフ、リループ再生を行います。ボタンを押すと点灯します。（P.10）

3. SKIP

トラックを選択します。
MP3ファイル再生モード時は、SHIFTキーとの組み合わせでディレクトリを選択します。

4. SEARCH

サーチを行います。

ご注意

MP3ファイル再生時にはサーチ機能は働きません。

5. CUE

点灯時に押すと、キューポイントに戻り待機します。キューポイントで待機しているときにこのキーを押し続けるとキューポイントより再生します。キーを離すとキューポイントに戻ります。（P.9）
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとキューポイントの設定方法を切り替えます。（P.9）

6. PLAY / PAUSE
再生、一時停止を行います。再生中はキーが点灯し、一時停止中はキーが点滅します。

7. TIME / ENTER / SHIFT
タイムモードを切り替えます（トラックリメイン、トラック経過時間、およびトータルリメイン）。
トラックリメインモード時はLCD内のREMAINインジケーターが点灯します。トータルリメイン時は、トラック表示部に総トラック数表示と総残り時間表示をします。ただし、トラックの終わり5秒間は現在のトラック番号が点滅表示し、トラックの始めの5秒間は現在のトラックが点灯表示します。
また、他のキーとの組み合わせで以下の機能になります。

SHIFT + PLAY MODE :プログラムエディット
SHIFT + CUE-PLAY :トラックメモリーリコール
SHIFT + CUE-SET :トラックメモリー
SHIFT + TAP :パラメーター表示切り替え
SHIFT + ジョグ :プリセット
SHIFT + LOOP END :ループ終了ポイント編集
SHIFT + CUE :CUE機能切り替え

8. PLAY MODE / PGM EDIT
再生モードを選択します（全曲、1曲、プログラム、全曲リピート、1曲リピート、プログラムリピート）。

全曲再生モード：表示は特になし
1曲再生モード：LCD内の"SINGLE"インジケーターが点灯します。
プログラム再生モード：LCD内の"PGM"インジケーターが点灯します。
全曲リピート再生モード：LCD内の"ALL"と"LOOP"インジケーターが点灯します。
1曲リピート再生モード：LCD内の"SINGLE"、"S"、"LOOP"インジケーターが点灯します。
プログラムリピート再生モード：LCD内の"PGM"と"LOOP"インジケーターが点灯します。

TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとプログラムエディットモードになります。（P.18）

9. LCD
再生時間など、本機の様々な情報を表示します。
（ディフォルト表示は、時間表示REMAIN、TEMPO）

10. EFFECT SYNC/ FLANGE / FILTER / DELAY
EFFECT SYNC：エフェクトタイムをBPMに同期させます。（P.14）
FLANGE：フランジャーエフェクトをオン/オフします。（P.14）
FILTER：フィルターエフェクトをオン/オフします。（P.14）
DELAY：ディレイエフェクトをオン/オフします。（P.14）

11. TAP / DISPLAY
このキーを数回押すことにより、BPMを計測することができます。（P.11）このキーを押すと、TAP LEDがカウントに合わせて点滅しパラメーター表示部が一時的にBPM表示に切り替わります。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとパラメーター表示部のモードを切り替えることができます。　TEMPO -> KEY -> TAP -> BPM -> (FDR) ->

12. CUE-PLAY / TRK RECALL / DEL
CUE-PLAY機能をオン/オフします。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーをリコールするモードになります。
プログラムエディット時は、現在表示しているトラックをリストから削除します。（P.9）

13. CUE-SET / TRK MEMO / INS
CUE-SETキーを押した後、CUE 1-3キーを押すとCUE 1-3ポイントを登録します。
TIME/ENTER/SHIFTキーを押しながらこのキーを押すとトラックメモリーモードになります。
プログラムエディット時は、プログラムの追加をします。（P.16）

14. CUE 1-3
CUE-SETキーと合わせてCUE 1-3ポイントを登録します。（P.9）CUE 1-3ポイントが登録されているとき、CUE-PLAY機能がオフの場合は、キーを押すと登録されているポイントに戻り待機します。またCUE-PLAY機能がオンのときは、キーを押す度に登録されているポイントからスタートします。

15. ジョグダイアル
ジョグダイアルには以下のような機能があります。
- サーチ
- ピッチベンド
- スクラッチ
- ブレーキタイム設定
- キーコントロール
- プリセット
- エフェクトパラメーター
- サンプラーテンポ/レベル
- プログラムエディット
- トラックメモリー番号選択

16. REC
このキーを1度押すとサンプリング待機状態（点滅）になり、次に押すとサンプリングを開始(点灯)します。
再度押すとサンプリングを停止（消灯）します。（P.15）
サンプリング時間は最大で8秒間です。

17. LOOP ON/OFF
サンプラーのループ再生をオン(点灯)/オフします。(P.15)

18. PLAYキー
このキーを押している間サンプラーが再生します。(P.15)
キーを離すとサンプラーは停止します。
サンプラーループ再生中にこのキーを押すと、サンプリングデータの頭から再生を始めます。

19. MASTER TEMPO / KEY
マスターテンポ機能をオン/オフします。(P.12)
マスターテンポ機能がオフのとき、このキーを押しながらジョグダイアルを回すとキーコントロールを行います。(P.12)

20. PITCH RANGE
ピッチレンジを設定します(±6, 10, 50, 100, 0%)。(P.11)

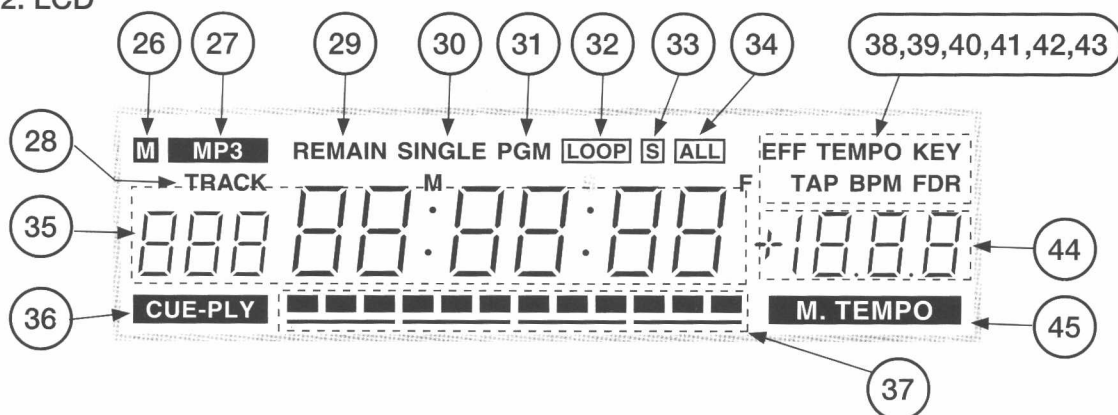
21. BEND +/−
ピッチベンドを行います。(P.12)

22. PITCHフェーダー
再生テンポを調整します。(P.11)

23. SCRATCH
スクラッチ機能をオン(点灯)/オフします。スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイアルでスクラッチを行うことができます。(P.13)

24. BRAKE
ブレーキ機能をオン(点灯)/オフします。またこのキーを押しながらジョグダイアルを回すとブレーキタイムを設定します。(P.13)

25. REVERSE
リバース再生をオン(点灯)/オフします。(P.15)

1-2. LCD

26. M
メモリー内に現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、このインジケーターが点灯します。

27. MP3
MP3ファイルが記録されたディスクが挿入されたときに点灯します。

28. TRACK
トラック番号表示部の表示

29. REMAIN（ディフォルト表示）
時間表時モードがリメインモード時に点灯します。

30. SINGLE
再生モードが1曲再生モード時に点灯します。

31. PGM
再生モードがプログラム再生モード時に点灯します。

32. LOOP
リピート再生時に点灯します。

33. S
1曲リピート再生時に点灯します。

34. ALL
全曲リピート再生時に点灯します。

35. 時間表示部
トラック番号、時間表示などをします。

36. CUE-PLAY
CUE-PLAY機能がオンのとき点灯します。

37. タイムアドレスバー
トラック内における現在のおおよその再生位置を表示します。

38. EFF
エフェクトがオンのとき、パラメーター表示部にエフェクトのパラメーターを表示しているときに点灯ます。

39. TEMPO（ディフォルト表示）
パラメーター表示部がテンポ値を表示しているときに点灯します。

40. KEY
パラメーター表示部がキー値を表示しているときや、キーが0%以外に設定されているときに点灯します。

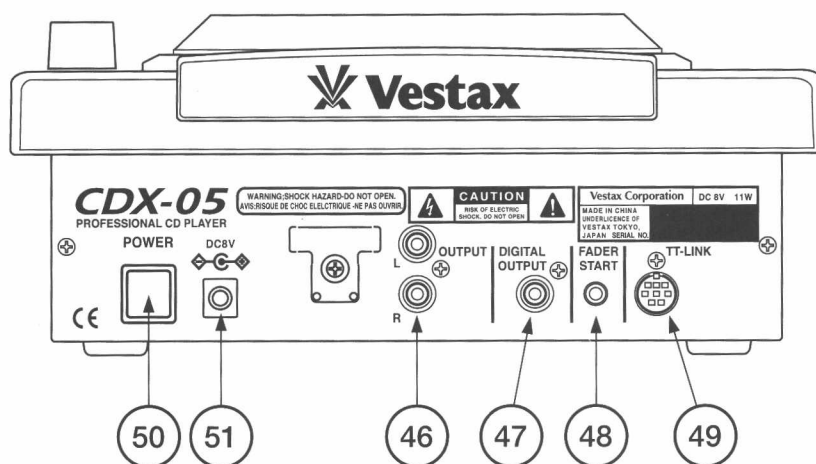
41. TAP
TAPキーで入力したBPMを表示しているときに点灯します。

42. BPM
自動計測したBPMを表示しているときに点灯します。

43. FDR
MP3ファイルが記録されたディスクを挿入時、フォルダ番号を表示しているときに点灯します。

44. パラメーター表示部
様々なパラメーターを表示します。

45. M.TEMPO
マスターテンポ機能がオンのとき点灯します。

1-3. リアパネル

46. OUTPUT端子（RCAピン）
アンバランスアナログライン出力端子です。

47. DIGITAL OUTPUT端子（COAXIAL）
S/PDIFフォーマットのデジタル出力端子です。ピッチコントロールがオンのときでも、常に44.1KHzのデジタル信号を出力します。

48. FADER START端子（ミニジャック）
フェーダースタートに対応した外部ミキサーなどを使って本機をフェーダースタートする際に使用します。(P.17)
この場合、フェーダースタートを行うミキサーにオーディオ信号も接続してください。
(TIP：スタート、GND：バックキュー)

49. TT-LINK端子（MINI DIN 6P）
TASCAMのスクラッチコントローラー、TT-M1と接続します。

50. POWERスイッチ
本機の電源をオン/オフします。

51. AC電源入力コード
専用の電源アダプター（ベスタクス DC-8 DM）を接続して下さい。

2. 基本操作

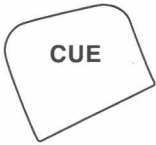
2-1. CUE

本機は再生を開始したいポイントをキューポイントとして登録することができます。キューポイントが登録されていると、CUEキーを押すことによりあらかじめ登録されていたポイントにロケートすることができます。

キューポイントの登録

キューポイントの登録方法は右記の2通りがあります。（SHIFTキーを押しながらCUEキーを押すことによりキューポイントの登録方法を切り替えることができます）

CUE　一時停止中にCUEキーを押したポイントをキューポイントとして登録します。

PLY　最後に再生を開始したポイントをキューポイントとして登録します。

キューポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUEキーを押し続けると、キューポイントから再生を開始します。CUEキーを離すとキューポイントに戻り待機します。
CUEキーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

2-2. CUE 1-3

CUE 1-3ポイントの登録

1. 登録したいポイントをサーチします。
2. CUE-SETキーを押します。パラメーター表示部に SEt が表示されます。
3. CUE 1-3のどれかのキーを押します。

CUE-SET
/ INS
(TRK MEMO)

キューポイントが登録されると、対応するキーが点灯します。
一時停止中、CUE-PLAY機能がオンのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、自動的に再生を開始します。
一時停止中、CUE-PLAY機能がオフのときCUE 1-3ポイントの登録操作をすると、対応するキー（CUE 1-3）が3回点滅し、その後点灯します。

ご注意
CUE 1-3を登録した直後3秒間は、別のCUE 1-3ポイントを登録することはできません。

CUE 1-3ポイントの確認再生

キューポイントで待機中にCUE 1-3キーを押し続けると、対応するキューポイントから再生を開始します。キーを離すとキューポイントに戻り待機します。
CUE1-3キーを押して確認再生中にPLAYキーを押すと通常再生になります。

2-3. CUE-PLAY

CUE 1-3キーを使ってCUE-PLAYスタートを行うことができます。CUE-PLAY機能がオンのとき（LCD内のCUE-PLAYインジケーターが点灯時）、CUE 1-3キーを押すことによりCUE-PLAYスタートを行うことができます。

ご注意
CUE-PLAY機能がオフのとき（LCD内のCUE-PLAYインジケーターが消灯時）CUE 1-3、キーを押すと、対応するキューポイントにロケートし、待機します。

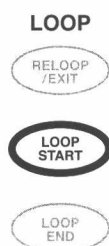
2-4. A-Bループ再生

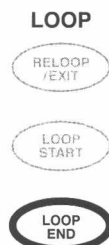
ループポイントの設定

ご注意

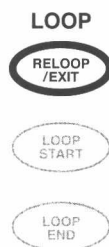
- ●ループポイントを登録する場合は現在ループ再生中でないことを確認してください。ループ再生中はループポイントの設定はできません。
- ●ループポイントは常に上書き可能です。
- ●ループポイントは同一トラック内で登録してください。トラックをまたぐループ再生には対応していません。
- ●LOOP ENDポイントはLOOP STARTポイントより後ろにしか設定できません。
- ●ループのリバース再生は出来ません。

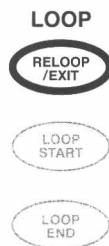
1. 再生中または一時停止中にLOOP STARTキーを押します。このとき、LOOP　STARTキーが点灯し、LOOP ENDキーが点滅します。

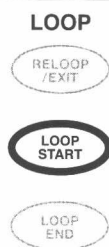
LOOP
RELOOP /EXIT
LOOP START
LOOP END

2. 再生中または一時停止中にLOOP ENDキーを押します。このとき、LOOP STARTキー、LOOP ENDキーが点灯し、RELOOP/EXITキーが点滅します。再生中にループポイントを設定した場合、シームレスにループ再生を開始します。一時停止中にループポイントを設定した場合はループ開始点で待機します。

LOOP
RELOOP /EXIT
LOOP START
LOOP END

ループ再生の解除

ループ再生中にRELOOP/EXITキーを押すとLOOPキーが点灯しループ再生を解除し、そのまま再生を続けます。このときループポイントは消去されません。

また、CUEキーやCUE 1-3キーなどでループ区間外にロケートされた場合、RELOOPキーが点灯しループ再生を解除します。このときもループポイントは消去されません。

リループ再生

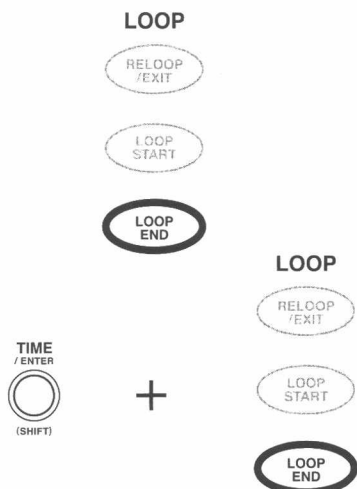
ループポイントが登録済みでループ再生が解除されているとき、RELOOPキーを押すことにより、再度ループ再生をシームレスに開始することができます。

LOOP STARTポイントからの再生

ループ再生中にLOOP STARTキーを押すと、ループ開始ポイントから再生を始めます。

ループ終了ポイントの編集

ループ再生中にLOOP ENDキーを押すとループ終了ポイントを変更します。

SHIFTキーを押しながらLOOP ENDキーを押すとループ終了ポイントをジョグダイアルで変更できます。LOOP ENDキーを押すと、LOOP ENDポイントを確定し、LOOP ENDポイント編集モードを抜けます。

ご注意

ループ終了ポイントの編集は、現在のループ終了ポイントより後ろには移動できません。

2-5. 再生ピッチの調整

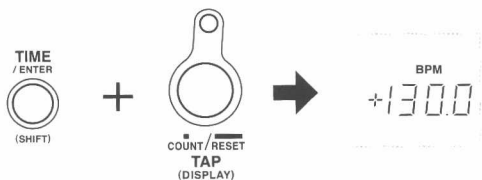
ピッチレンジ

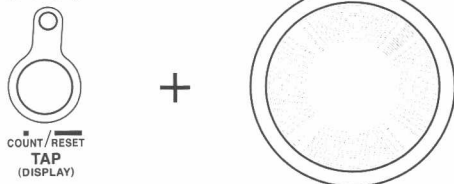
本機は±6、10、50、100%(および0%)のピッチコントロール機能を搭載しています。PITCH RANGEキーを押すことにより、6→10→50→100→0→6 の順でピッチレンジを変更することができます。パラメーター表示部に設定されたピッチレンジが一時的に表示されます。0%を選択した場合、ピッチレンジ表示は行わず、パラメーター表示部のテンポ表示が – – – になります。

ピッチフェダー

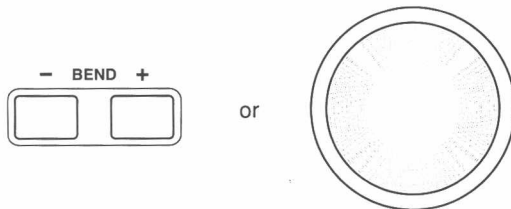
ピッチフェーダーを使ってピッチコントロールを行います。現在の再生ピッチはパラメーター表示部に表示されます。

BPMおよびTAPキー

本機は再生している曲のBPMを自動計測します。自動計測したBPM値はパラメーター表示部のモードをBPMに設定することによって表示することができます。

TAPキーを数回押すことにより、BPMを手動で計測することができます。手動計測されたBPMはパラメーター表示部に一時的に表示されます。またTAPキーの上のLEDがBPM値に連動して点滅します。このBPM値はピッチを変えると連動して自動的に変化します。

TAPキーを1.5秒間以上押し続けると、手動入力したBPM値を消去します。また、TAPキーを押しながら1.5秒以内にジョグダイアルを回すとBPM値を微調整することができます。

自動計測したBPM値やTAPキーで計測したBPM値は、エフェクターのビートパラメーター用として使用することができます（P.14）。TAPキーでBPMを計測している場合はTAP BPM値が、TAP BPM値が無い（消去した）場合は自動計測したBPM値がエフェクトビートパラメーター用として使用されます。

2-6. ピッチベンド

再生中にBEND +/-キーやジョグダイアルを回すことにより、再生スピードを一時的に早くしたり遅くしたりすることができます。
BEND +キーを押すかジョグダイアルを時計回りに回すと再生スピードが早くなり、キーを離すまたはジョグダイアルを止めると元の再生スピードに戻ります。
BEND -キーを押すかジョグダイアルを反時計回りに回すと再生スピードが遅くなり、キーを離すまたはジョグダイアルを止めると元の再生スピードに戻ります。

ご注意

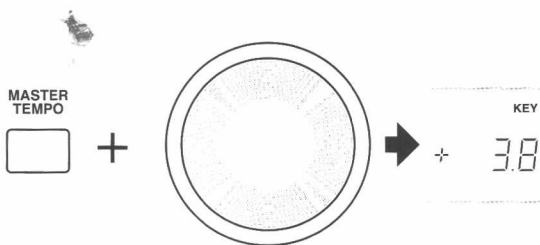
- ●スクラッチ機能、またはエフェクトがオンのとき、ジョグダイアルはピッチベンド機能に使うことはできません。
- ●最大ピッチベンド幅は±10%です。
- ●マスターテンポ機能がオンのとき、ピッチベンド時もキーは変わりません。

2-7. マスターテンポ

MASTER TEMPOキーを押すことにより、テンポを変えてもキーが変わらないマスターテンポ機能をオン / オフすることができます。マスターテンポ機能がオンのとき、LCD内のM.TEMPOインジケーターが点灯します。
マスターテンポ機能がオンのとき、パラメーター表示部のキー表示（KEYインジケーター点灯時）は － － － になります。

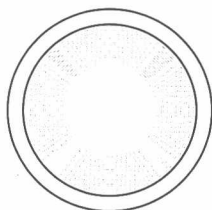
3. 応用操作

3-1. キーコントロール

本機は±6および±10%のキーコントロール機能を搭載しています。キーコントロールレンジはテンポレンジに連動します。ただし0%時および±100%の時、キーコントロール機能は働きません。
MASTER TEMPOキーを押しながらジョグダイアルを回すとキーを設定することができます。また、操作中にジョグダイアルを押すと０%に戻ります。

ご注意

- ●マスターテンポ機能がオンのときは、キーコントロール機能は働きません。
- ●キー値は実際のキーの変化量を表示するため、キーコントロール値とテンポ値の合計になります。

3-2. スクラッチ

SCRATCHキーでジョグダイアルによるスクラッチ機能のオン/オフを行うことができます。

ご注意

- 再生開始直後（CUE-PLAY、トラックスキップ、ループ再生を含む）3秒間はリバース方向のスクラッチ再生はできません。
- MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大7秒まで可能です。
- マニュアルフィルターエフェクトがオンのとき（P.14）はジョグダイアルでのスクラッチはできません。

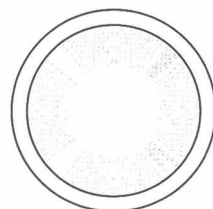
3-3. ブレーキ

BRAKEキーを押すと、ブレーキ機能をオン/オフすることができます。ブレーキ機能をオンにすると、再生から一時停止状態にするときに、アナログターンテーブルのように、徐々にピッチを下げながら再生を止めることができます。

ブレーキ機能がオンのとき、BRAKEキーが点灯します。

BRAKE

ブレーキタイムの設定

BRAKEキーを押しながらジョグダイアルを回すとブレーキタイムを設定することができます。ブレーキタイムは1秒から5秒まで、0.1秒単位で設定することができます。
ブレーキタイムの初期設定値は、0.3秒です。

3-4. エフェクト

本機にはフランジャー、フィルター、およびディレイエフェクトが搭載されています。
各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトをオン/オフすることができます。
EFFECT SYNCキーを押すと、エフェクトタイムをBPMに合わせることができます。
SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルを調整することができます。

エフェクトタイムの設定

エフェクトをオンにすると、ジョグダイアルでエフェクトタイムを設定することができます。

このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトタイムが表示されます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイアルでエフェクトタイムの設定はできません。

エフェクトタイムをBPMに合わせる

エフェクトをオンにし、さらにEFFECT SYNCキーもオンにすると、エフェクトタイムを現在のBPM値（TAP BPMまたは自動計測したBPM）に合わせることができます。ジョグダイアルを使ってビートを設定することができます。

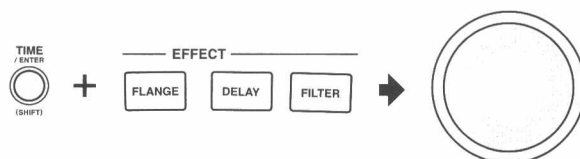
このとき、パラメーターディスプレイにエフェクトビートが表示されます。

ご注意

スクラッチ機能がオンのとき、ジョグダイアルでエフェクトビートの設定はできません。

エフェクトレベルの設定

SHIFTキーを押しながら各エフェクトキーを押すと、それぞれのエフェクトレベルをジョグダイアルで設定することができます。
このときパラメーターディスプレイにエフェクトレベルが表示されます。

TIME /ENTER (SHIFT) ＋ EFFECT FLANGE DELAY FILTER

フランジャー

FLANGEキーを押すとフランジャーエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム：10msec - 16sec（デフォルト:500msec）
エフェクトビート：32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2（デフォルト:1）
エフェクトレベル：0 ― 100（デフォルト:50）

フィルター

FILTERキーを押すとフィルターエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム：10msec - 16sec（デフォルト:2sec）
エフェクトビート：32, 16, 8, 4, 2, 1, 1/2（デフォルト:4）
エフェクトレベル：0 ― 100（デフォルト:50）

フィルターエフェクトにはオートフィルターとマニュアルフィルターの2種類があります。
オートフィルター設定時は、フィルターの周波数が設定したエフェクトタイムまたはエフェクトビートで自動的に変化します。
マニュアルフィルター設定時は、ジョグダイアルでフィルター周波数を手動で変化させることができます。
FILTERキーを1.5秒以上押すと、オートフィルターとマニュアルフィルターの切り替えることができます。

ご注意

マニュアルフィルター設定時は、フィルターエフェクトをオンにするとスクラッチ機能がオンのときでも、ジョグダイアルでフィルター周波数を変化させることができます。

ディレイ

DELAYキーを押すとディレイエフェクトをオン/オフすることができます。
エフェクトタイム：1msec - 3,500msec（デフォルト:500msec）
エフェクトビート：32, 1, 3/4, 1/2, 1/4（デフォルト:1）
エフェクトレベル：0 ―100（デフォルト:50）

3-5. リバース再生

REVERSEキーを押すと、リバース再生のオン/オフを行うことができます。リバース再生モード時はREVERSEキーが点灯します。

ご注意

- ●一時停止後3秒間、リバース再生はできません。
- ●リバース再生時はCUE-PLAY、ループポイントの作成、およびオートキュー機能は働きません。
- ●ループのリバース再生は出来ません。リバース再生中にRELOOPキーを押すと、リバースが解除され、通常ループ再生になります。

3-6. サンプラー

本機には8秒のサンプラーが搭載されています。

サンプリング

ご注意

- ●サンプリングを行う場合はサンプラーが停止していることを確認してください。
- ●サンプリングデータの消去はできません。サンプラーは常に上書きが可能です。

1. 再生中または一時停止中にRECキーを1回押します。このときRECキーが点滅しRECスタンバイ状態になります。

SAMPLER
REC
LOOP ON / OFF
PLAY

2. 再生中または一時停止中に再度RECキーを押すと録音が開始しRECキーが点灯します。

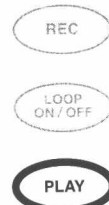
3. 再生中または一時停止中に再度RECキーを押すとサンプリングを終了し点滅を3回行いRECキーが消灯します。

SAMPLER
REC
LOOP ON / OFF
PLAY

RECキーを押してから、最大録音時間の8秒を経過すると、自動的にサンプリングを停止します。

サンプラーの再生

サンプリング終了後、PLAYキーを押している間、サンプラー再生します。PLAYキーを離すとサンプラーは停止します。

SAMPLER
REC
LOOP ON / OFF
PLAY

サンプラーのループ再生

LOOPキーを押すとサンプラーループ再生をオン/オフします。サンプラーループ再生がオンのときは、LOOPキーとPLAYキーが点灯します。

PLAY

サンプラーのピッチコントロール

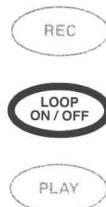
LOOPキーを押しながら、ジョグダイアルを回すことにより、サンプラーのピッチコントロールを行うことができます。ピッチコントロールレンジは±32%で、0.1%単位で可変可能です。

SAMPLER

REC

LOOP ON / OFF

PLAY

＋

サンプラーの再生レベルの設定

PLAYキーを押しながらジョグダイアルを回すことにより、サンプラーの再生レベルを調整することができます。再生レベルの可変範囲は0（無音）から100（通常再生レベル）です。

3-7. トラックメモリー/リコール

本機はトラックごとに再生設定をメモリーすることができます。最大100曲のトラックメモリーが可能です。

メモリー

1. SHIFTキーを押しながらTRK MEMOキーを押してメモリーモードにします。

2. LCD内のパラメーター表示部に空のメモリー番号が表示されます。

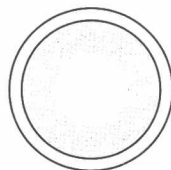
3. 必要に応じてジョグダイアルでメモリー番号を選択します。

4. ENTERキーを押します。このとき、選択されたメモリー番号に既にデータがある場合、LCD内に -SUrE- と表示します。続けてENTERキーを押すと現在のトラックの情報を上書きします。他のキーを押すとメモリーをキャンセルします。

トラックメモリー可能な情報

- DISC ID
- CUE 1-3ポイント
- LOOPモード
- TAP値
- ブレーキ オン/オフ
- マスターテンポ オン/オフ
- キューポイント
- LOOP A/Bポイント
- 再生モード
- タイムモード
- ブレーキタイム

リコール

1. SHIFTキーを押しながらTRK RECALLキーを押してリコールモードにします。現在選択されているトラックのメモリーデータがある場合、そのメモリー番号がLCD内のパラメーター表示部に表示されますのでジョグダイヤルでトラックメモリー番号を選択します。

2. ENTERキーを押すと、トラックメモリーデータにメモリーされているトラックとそのトラックメモリーデータを呼び出します。

TIME
/ ENTER
(SHIFT)

ご注意

この機能を使うことにより、キューポイントやループポイントのメモリー/リコールも可能です。ただし、リコールした直後はフラッシュスタートやシームレスにループ再生に移行することはできません。一旦キューポイントから再生やループ再生を行うと、次回からはフラッシュスタートやシームレスにループ再生に移行することができます。

3-8. フェーダースタート

フェーダースタートに対応した外部ミキサーから本機をフェーダースタート/バックキューさせることができます。リアパネルのFADER START端子と外部ミキサーを付属のフェーダースタートケーブルで接続してください。このとき、オーディオ信号もフェーダースタートを行うミキサーに接続してください。

TIP: スタート（50ms以上のローパルス）

GND: バックキュー（50ms以上のローパルス）

3-9. TT-M1（TASCAM）での再生

本機はアナログターンテーブルにセットされたTT-M1（TASCAM）と接続することにより、ジョグダイアルの代わりに、アナログターンテーブルで操作をすることが可能です。

ご注意

TT-M1を使用する際は必ず本機のスクラッチ機能をオフにして下さい。正常に動作しないことがあります。

セッティング

1. TT-M1の接続ケーブルを本機のTT-LINK端子に接続し、TT-M1の電源を入れます。
2. SHIFTキーを押しながらPLAYキーを押して、本機との調整を行ないます

ご注意

TT-M1を使用する際は必ず調整を行なってから、ご使用ください。調整を行なわずに使用すると正常に働かない恐れがあります。
詳しくは、TASCAM TT-M1 の取扱説明書をよくお読みください。

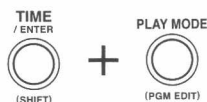
3-10. プログラム再生

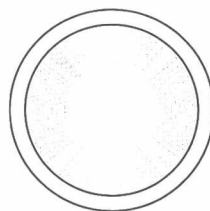
本機は最大30曲のプログラム再生機能を搭載しています。
プログラムは電源をオフにしてもメモリーされます。
ただしCDを取り出すとプログラム内容は消去されます。

ご注意

プログラム再生中にCUE 1-3キーを押すとプログラム再生は解除されます。

プログラムの作成

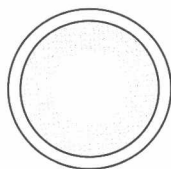
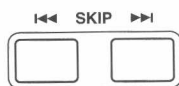
1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードにします。

2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。SKIPキーでトラックを選択します。

3. ENTERキーまたはジョグダイアルを右に回して次のプログラム番号を表示します。

4. 2～3をくり返します。

5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

プログラムの変更

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードにします。

2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。変更したいプログラム番号をジョグダイアルで選択します。

3. SKIPキーでトラックを変更します。

4. 2～3をくり返します。

5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

プログラムの追加

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードにします。

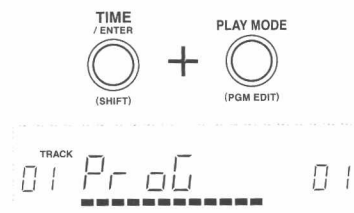
2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。プログラムを追加したい位置のプログラム番号をジョグダイアルで選択します。

3. CUE-SET/INSキーを押します。

4. SKIPキーでトラックを選択します。

5. 2〜4をくり返します。
6. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

プログラムの削除

1. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードにします。

2. プログラム番号がパラメーター表示部に表示されます。削除したいプログラム番号をジョグダイアルで選択します。

3. CUE-PLAY/DELキーを押します。

4. 2〜3をくり返します。
5. SHIFTキーを押しながらPLAY MODE/PGM EDITキーを押しプログラムエディットモードを終了します。

3-11. MP3ファイルの再生

本機は以下のフォーマットで記録されたMP3ファイルを再生することができます。

ディスクフォーマット ：ISO9660 Level 1
ディレクトリ数 ：最大254ディレクトリ
ファイル数 ：最大255ファイル
ファイルフォーマット ：MPEG 1 Audio Layer 3
ビットレート ：32kbps～192kbps,
固定ビットレート
サンプリング周波数 ：44.1KHz,ステレオ
ファイル拡張子 ：mp3, Mp3, mP3, MP3

ご注意

●MP3再生時、リバース方向のスクラッチは最大7秒まで可能です。

ご注意

●マルチセッションで記録されたディスクの場合、最初のセッションに記録されたファイルのみを再生します。
●可変ビットレート（VBR）のファイルの再生はできません。
●MP3再生においては以下の機能はサポートしておりません。

- CUEおよびCUE 1-3機能
- CUE-PLAY
- ループ再生
- サーチ
- リバース再生
- トラックメモリー
- トータルリメインタイム表示
- リメインタイム
- タイムアドレスバー表示

MP3ファイルの再生

1. MP3ファイルが記録されたディスクを挿入します。
2. SKIPキーでファイルを選択します。
3. PLAY/PAUSEキーを押します。

SHIFTキーを押しながらSKIPキーを押すと、ディレクトリ単位でスキップすることができます。

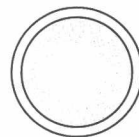
ご注意

●本機はテキスト表示には対応しておりません。ファイル番号をトラック表示部に、ディレクトリ番号をパラメーターディスプレイに、それぞれアルファベット順に表示します。

3-12. プリセットメニュー

SHIFTキーを押しながらジョグダイアルを回すとプリセットメニューを呼び出し選択します。

プリセットメニューを選択後、ENTERキーを押します。各プリセットメニューの現在設定されているパラメーターがパラメーター表示部に表示されます。

ジョグダイアルでパラメーターを選択します。

ENTERキーを押して設定を確定します。

他のキーを押すとプリセットメニューを抜けます。

プリセット番号	内容	パラメーター(*:デフォルト)	機能
01 CdFLt	CDフィルター	OFF ,On *	CDフィルターをオン/オフします。
02 t_PLAY	タイマースタート	OFF *,On	タイマースタート機能をオン/オフします。
03 dIrECt	ダイレクトモード	OFF *,On	ダイレクトモードをオン/オフします。ダイレクトモードがオンのとき、ディスク再生中でもディスクのイジェクトが可能になります。またディスクを挿入すると自動的に再生を開始します。
04 rEAd	TOCリードモード	nor *,AUt	TOCリードモードを選択します。 nor :標準のサーボ値を使用します。 AUt :毎回サーボを調整します。
05 FAdEr		Cd *,SAn,COn	FADER スタートモードを選択します。 Cd :CDをフェーダースタートします。 SAn :サンプラーをフェーダースタートします。 COn :CDとサンプラー両方をフェーダースタートします。
07 F PrE	プリセットの初期化	-SUrE-	プリセットメニューを初期化します。
08 ALLCLr	メモリーオールクリア	-SUrE-	全てのメモリーデータを消去します。

3-13. バックアップメモリー

電源をオフにしても、以下の設定をバッテリーバックアップします。

- ●タイムモード
- ●再生モード
- ●CUE-PLAYオン/オフ
- ●ブレーキオン/オフ
- ●ブレーキタイム
- ●マスターテンポオン/オフ
- ●テンポレンジ
- ●プリセットメニュー設定
- ●キューモード
- ●プログラム
- ●エフェクトオン/オフ
- ●リバース再生オン/オフ

4. 定格および性能

使用ディスク	8cm / 12cm CD-DA/CD-R/CD-RW
チャンネル数	2チャンネル
量子化ビット数	16ビット
サンプリング周波数	44.1kHz (ピッチ可変時も44.1 k Hzで出力)
DAコンバータ	詳細別途
アナログ出力	RCAピンジャック
出力インピーダンス	1kΩ以下
規定出力レベル	-10dBV(0.32V)
最大出力レベル	+6dBV(2.0V)
デジタル出力	Coaxial
フォーマット IEC60958	Type II

電源	DM/100V AC, 50-60Hz
消費電力	11W
外形寸法(W x H x D mm)	242 x 300 x 85
質量	5.9kg

(注)以下の性能はキーおよびテンポが0%のときのものです。

周波数特性	10 - 20kHz, +0/-1.0dB
ダイナミックレンジ	98dB
S/N比	98dB(IHF-A)
歪み率	0.006%以下
FADER START端子	φ3.5ミニホンジャック
TT-LINK端子	MINI DIN端子

5. 故障かな？ と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出される前にもう一度点検してください。
それでも正常に動作しないときは、お買い上げになった販売店にご相談ください。

症　状	考えられる原因	処　置
電源が入らない。	電源コードがつながっていない。	電源コンセントにつなぐ。
演奏をはじめてもすぐに停止してしまう。	ディスクの表と裏を逆に装着している。	レーベル面を上にして装着する。
	ディスクのくもりなど。	ディスクのくもりを拭き取る。
音が出ない。	出力コードが正しく接続されていない、またははずれている。	正しく接続する。
	接続のための端子やプラグが汚れている。	汚れを拭きとって接続する。
	プレイヤーがポーズモードになっている。	PLAY/PAUSE キーを押して、演奏する。
音が歪む、雑音が出る。	出力コードが正しく接続されていない。	オーディオミキサー及びアンプのライン入力端子へ接続する。フォノ端子、マイク端子へは接続しないで下さい。
	接続のための端子やプラグが汚れている。 テレビからの影響を受けている。	汚れを拭きとって接続する。 テレビの電源を切る。または本機を離す。
特定のディスクで大きなノイズが出る。演奏が中断しています。	ディスクに大きなキズやそりがある。	ディスクを交換する。
	ディスクが極端に汚れている。	ディスクの汚れを拭き取る。
テレビの画面が乱れる、FM 放送に雑音が入る。	本機が影響している。	本気の電源を切るか、テレビから離す。確実に接続する。
電源 ON の状態でディスクが停止している。	ポーズ状態で 10 分間以上操作しないと自動的にディスクの回転を停止し、スタンバイモードに入る。	PLAY/PAUSE 等のボタンを押すと演奏を開始します。

エラーメッセージ

本機が正常に動作ができない場合は、LCD内にエラーコードを表示します。以下に示す表でエラー内容とその処置を行ってください。

エラー	エラー内容	処置
Err 01	20秒以内にTOCが読みとれない	ディスクに傷がある →ディスクを交換してください。 ディスクが汚れている →ディスクをクリーニングしてください。
Err 02	5秒間GFS信号が検出されない	
Err 03	フォーカスがかからない	
Err 04	サブQコードが検出できない	ディスクを交換してください。
Err 05	5秒以内にローディングが終了しない	トレイに異物がないか確認してください
Err 06	ドライブのエラーです	電源を再投入してください
Err 07	デッキ間の通信エラーです	
Err 10	内部RAMのエラーです	

◆ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮（思いやり）を十分にいたしましょう。ステレオの音量はあなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。お互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。

◆著作権について

●放送やレコード、その他の録音物（ミュージックテープ、カセット、CDなど）、音楽作品は音楽の歌詞、楽曲などと同じく著作権法により保護されています。

●したがって、それから録音したテープを売ったり、譲ったり、配ったり、貸したりする場合、および営利（店のBGMなど）のために使用する場合には、著作権法上、権利者の承諾が必要です。

●使用条件は場合によって異なりますので、詳しい内容や申請その他の手続きについては「日本音楽著作権協会」（JASRAC)の本部または最寄りの支部にお問い合わせ下さい。

日本音楽著作権協会

本部
〒151-8540 東京都渋谷区上原3-6-12
TEL：03-3481-2121(大代表) FAX：03-3481-2150

北海道支部（業務地域　北海道）
〒060-0001 札幌市中央区北一条西3-2 大和銀行札幌ビル
TEL：011-221-5088 FAX：011-221-1311

盛岡支部（業務地域　岩手・青森・秋田）
〒020-0034 盛岡市盛岡駅前通15-20 ニッセイ盛岡駅前ビル
TEL：019-652-3201 FAX：019-652-4010

仙台支部（業務地域　宮城・山形・福島）
〒980-0021 仙台市青葉区中央2-2-6 住友銀行仙台ビル
TEL：022-264-2266 FAX：022-265-2706

長野支部（業務地域　長野）
〒380-0823 長野市南千歳2-12-1 日本団体生命長野ビル
TEL：026-225-7111 FAX：026-223-4767

大宮支部（業務地域　埼玉・栃木・群馬・新潟）
〒331-0852 さいたま市桜木町1-7-5 ソニックシティビル
TEL：048-643-5461 FAX：048-643-3567

上野支部（業務地域　東京23区の城東地域・茨城）
〒110-0005 台東区上野2-7-13 交通公社・安田火災上野共同ビル
TEL：03-3832-1033 FAX：03-3832-1040

東京支部（業務地域　東京23区の東部・千葉）
〒104-0061 中央区銀座1-15-6 共同ビル銀座1丁目3階
TEL：03-3562-4455 FAX：03-3562-4457

西東京支部（業務地域　東京23区の西部）
〒160-0022 新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL：03-3232-8301 FAX：03-3232-7798

東京イベント・コンサート支部
（業務地域　東京都・千葉・茨城・山梨）
※コンサートや、イベント等における演奏・上映等
〒160-0022 新宿区新宿5-17-5 新宿中央ビル
TEL：03-5286-1671 FAX：03-5286-1670

立川支部（業務地域　東京の市、郡部・山梨）
〒190-0012 立川市曙町2-22-20 立川センタービル
TEL：042-529-1500 FAX：042-529-1515

横浜支部（業務地域　神奈川）
〒231-0005 横浜市中区本町1-3 綜通横浜ビル
TEL：045-662-6551 FAX：045-662-6548

静岡支部（業務地域　静岡）
〒420-0857 静岡市御幸町11-30 エクセルワード静岡ビル
TEL：054-254-2621 FAX：054-254-0285

中部支部（業務地域　愛知・岐阜・三重）
〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-27-23 名古屋三井ビル東館
TEL：052-583-7590 FAX：052-583-7594

北陸支部（業務地域　石川・富山・福井）
〒920-0853 金沢市本町1-5-2 リファーレ
TEL：076-221-3602 FAX：076-221-6109

京都支部（業務地域　京都・滋賀・奈良）
〒600-8008 京都市下京区四条通烏丸東入ル長刀鉾町8 京都三井ビル
TEL：075-251-0134 FAX：075-251-0414

大阪支部（業務地域　大阪南部・和歌山）
〒542-0081 大阪市中央区南船場4-3-11 豊田ビル
TEL（06）244-0351 FAX（06）244-1970

神戸支部（業務地域　兵庫）
〒650-0024 神戸市中央区海岸通6番地建隆ビルII
TEL：078-322-0561 FAX：078-322-0975

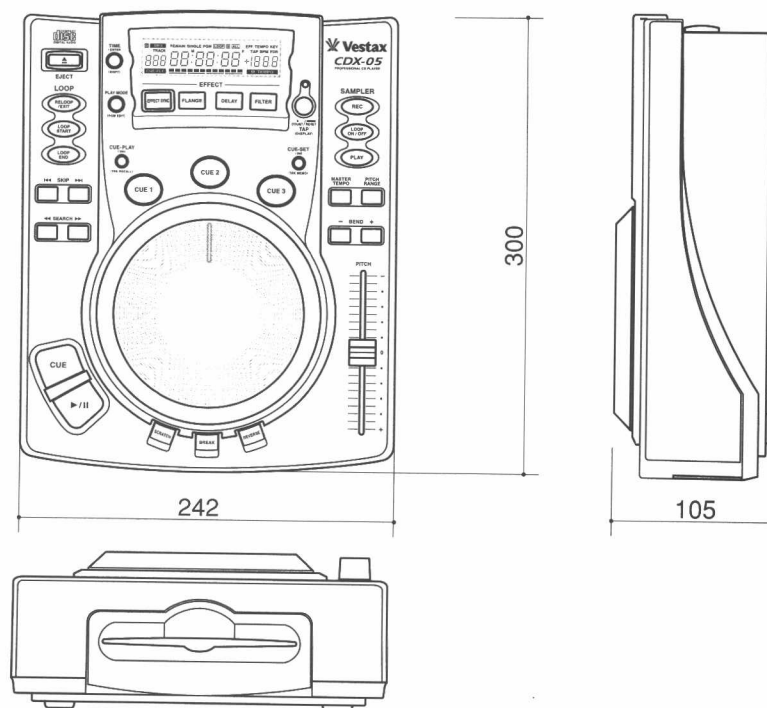
中国支部（業務地域　広島・岡山・山口・鳥取・島根）
〒730-0021 広島市中区胡町4-21 朝日生命広島胡町ビル
TEL：082-249-6362 FAX：082-246-4396

四国支部（業務地域　香川・徳島・高知・愛媛）
〒760-0023 高松市寿町2-2-10 住友生命高松寿町ビル
TEL：087-821-9191 FAX：087-822-5083

九州支部（業務地域　福岡・大分・佐賀・長崎・熊本）
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-1-1 福岡朝日ビル
TEL：092-441-2285 FAX：092-441-4218

鹿児島支部（業務地域　鹿児島・宮崎）
〒892-0842 鹿児島市東千石町1-38 アイムビル
TEL：099-224-6211 FAX：099-224-6106

那覇支部（業務地域　沖縄）
〒900-0015 那覇市久茂地1-3-1 久茂地セントラルビル
TEL：098-863-1228 FAX：098-866-5074

寸法図

保証とアフターサービス　（必ずお読みください）

保証書（別添）

保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保　証　期　間

お買い上げの日から1年です。

補修用性能部品の最低保有期間

補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り6年です。

この期間は通産省の指導によるものです。

性能部品とは、その製品の機能を維持する為に必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談並びにご不明な点は、　お買い上げの販売店にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは

異常のあるときは、使用を中止し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
（保証期間中であっても、内容により有償となる場合があります。）

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
見積りの必要な場合はあらかじめお伝えください。

お買い上げの日

お買い上げ店名

（　　）　－